

第3次羽生市まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和7年度評価シート

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	1 企業誘致を推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	企業誘致推進課
関係課	財政課・まちづくり政策課

3 基本施策の方向性
自動車交通の利便性や産業用地取得コストが低いといった本市のポテンシャルを生かして企業誘致を推進します。また、公共施設跡地の利活用を図ります。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
企業立地件数【社】 (開発許可等取得件数含む)	目標値		➡	➡	➡	➡	48	◎順調
	実績値	37	42					
公共施設跡地・未利用地の利 活用件数【件】	目標値		➡	➡	➡	➡	11	○概ね順調
	実績値	3	4					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	企業に対する羽生市のPR 評価 ◎概ね順調 ○事業用地情報を市ホームページへ掲載し、情報発信を行った。(宅建協会北埼玉支部へ掲載情報の提供を依頼した。) ○企業相談(R7年度:合計206件)、先進地視察、事業用地の紹介等を行い、当市における立地優位性を発信した。 ○Googleフォームを利用した立地意向アンケート調査(市内105社、市外101社)を実施し、ニーズ把握と立地優位性をPRした。 ○埼玉県企業立地セミナーin大阪において、市内産業用地の資料を提供し、物件情報の周知を図った。	今後の取組予定 ○立地意向アンケート調査を実施する。 ○企業相談や用地提案を通じた積極的な企業誘致を展開する。 ○埼玉県企業立地セミナーへ参加し、市のPRを実施する。
(2)	企業ニーズに応じた柔軟な対応及びワンストップ窓口の充実 評価 ◎概ね順調 ○都市計画法第34条第12号(産業系)区域を追加指定した。(R7年度:2件/4.05ha) ○新規立地相談や既存施設の拡張相談に対する開発許可取得に係る手続について、関係各課と調整し、総合的な支援を行った。(R7年度:5社) ○新卒採用を希望する企業を支援するため、市内外の高等学校を訪問し、企業の紹介及び進路状況等について意見交換した。 ○企業人材サポートデスクやハローワークとともに就職面接・相談会を共催し、企業の人材確保をサポートした。	今後の取組予定 ○新規立地や既存施設の拡張を検討する企業からの相談に対して、行政手続に関する支援を行い、円滑な許認可取得のために総合的な調整を図る。
(3)	新たな工業・産業用地の整備 評価 ◎概ね順調 ○埼玉県企業局とともに新たな産業団地創出に取り組んでいる。埼玉県企業局は候補地選定調査を実施し、市は当該調査への協力や関係部署との調整・協議、埋蔵文化財の試掘調査を実施した。 ○民間活力を活用した市街化調整区域における地区計画などの手法によって、新たな工業・産業用地の創出のために、埼玉県や事業者との協議を定期的に実施した。	今後の取組予定 ○産業団地整備に向けた用地交渉、農林調整、都市計画協議を実施する。 ○次期総合振興計画の策定に伴い、企業誘致検討ラインの充実を図り、土地利用の適正化を推進することで、民間事業者が円滑に開発に着手できる環境を整備する。
(4)	公共施設跡地・未利用地の利活用 評価 ◎概ね順調 ○企業跡地(上岩瀬地内)へのアクセス道路(市道0137号線)整備のため、測量及び地質調査、設計業務を実施した。 ○小須賀団地跡地について、跡地利用の事業者を決定することができた。 ○小学校跡地について、公募を実施したものの事業者の決定には至らなかった。 ○保育所跡地については、利活用を希望する事業者と交渉を継続している。	今後の取組予定 ○アクセス道路整備のため、物件調査、物件補償、工事を実施する。併せて進出企業のマッチング作業を行う。 ○公共施設跡地については、引き続き意見交換を継続しながら、ニーズの把握、募集要項の調整を行い、事業者の決定につなげる。
(5)	評価	今後の取組予定
(6)	評価	今後の取組予定

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	2 農業を活性化させる

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	農政課
関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
法人の農業参入数【法人】	目標値		➡	➡	➡	➡	10	○概ね順調
	実績値	7	7					
農地中間管理事業と連携した 基盤整備事業実施面積【ha】	目標値		➡	➡	➡	➡	300	○概ね順調
	実績値	222.6	279.8					
農地中間管理機構への貸付 面積【ha】	目標値		➡	➡	➡	➡	700	◎順調
	実績値	653.0	719.0					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	10ha規模の農業経営体の育成及び法人化への誘導 評価 ○概ね順調 ○認定農業者への経営改善計画のサポートを行った。 ○地域農業の担い手育成のため認定農業者を確保した。(認定農業者:169人(R8.3未現在)) ○農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積を促進した。(R7年度:80.4ha) ○国補助金を活用した農業経営規模の拡大等を支援した。(R7年度:1件) ○県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集を行った。	今後の取組予定 ○認定農業者の経営改善計画のサポートを継続する。 ○農地中間管理事業を活用した農地集積を促進する。 ○国補助金を活用した農業経営規模の拡大等を支援する。 ○県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集を継続する。
(2)	新規就農者及び農業後継者への支援 評価 ○概ね順調 ○新規就農者に資金を交付し(国補助)、経営を支援した。(R7年度:1名) ○農業後継者の設備投資等に対する支援を案内した。 ○経営の拡大を目指す農業後継者に対する支援を案内した。(国補助1/2) ○新規就農者発掘のため、県農業大学校授業料等の支援を案内した。 ○就農希望者を指導農家での農業研修につなげた。	今後の取組予定 ○新規就農者支援や農業後継者支援を継続する。 ○チャレンジ・ファームと連携して就職就農者を確保する。 ○新規就農イベント等で新規就農支援をPRする。 ○就農希望者を指導農家での研修につなげる。
(3)	観光農園等基本構想地等への企業の農業参入支援 評価 ○概ね順調 ○観光農園等基本構想計画地への企業参入に向け農地改良(畑地化)を実施した。 R7年度:2.8ha ○観光農園等基本構想計画地への参入希望企業との調整及び協議を実施した。 ○参入企業の生産施設拡大等への支援(国補助)を案内した。	今後の取組予定 ○観光農園等基本構想計画地への参入企業の選定及び参入企業との連携を継続する。 ○観光農園等基本構想計画地への参入企業と地域活性化について連携を強化する。 ○参入企業の生産施設拡大への支援を継続する。
(4)	スマート農業の推進 評価 ◎順調 ○スマート農業機械等の導入を支援した。(R7年度:5件) ○北埼玉スマート農業研究会の活動を支援した。 ○県、JA、関係機関と連携し、導入事例等の情報収集や情報提供を行った。	今後の取組予定 ○スマート農業機械等の導入支援を継続する。 ○北埼玉スマート農業研究会の活動支援を継続する。 ○導入事例等の情報収集及び情報提供を継続する。
(5)	6次産業化の推進 評価 ○概ね順調 ○6次産業化を検討する農業者への情報提供を行った。 ○6次産業化商品の販売方法を確保した。(キヤッセ羽生での販売等)	今後の取組予定 ○6次産業化に取り組む農業者への支援を継続する。 ○6次産業化商品の販売方法を確保する。
(6)	埼玉型ほ場整備の実施 評価 ○概ね順調 ○埼玉型ほ場整備事業を実施した。(村君地区/R3～7年度:51.4ha) ○公社営埼玉型ほ場整備事業を実施した。(藤井下組(第2期)地区/R6～7年度:5.8ha) ○機構関連ほ場整備の事業化に向けた調整を行った。(弥勒北地区/38ha)	今後の取組予定 ○県営調査(弥勒北地区)を継続して実施する。(R5～9年度)

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	2 農業を活性化させる

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	農政課
関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
1-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)		今後の取組予定(令和8～11年度)	
(7)	畦畔撤去による区画拡大工事の実施	評 価	○概ね順調 今後の取組予定	
○畦畔撤去の支援を行った。 補助交付 R7年度:コンクリ畦畔8件／1,970m、土畦畔1件／390㎡			○畦畔撤去の支援を継続する。	
(8)	耕作放棄地の解消に対する支援	評 価	○概ね順調 今後の取組予定	
○農業委員会の農地利用状況調査により遊休農地を確認し、農地の利用集積と遊休農地の発生防止、解消対策を実施した。(耕作放棄地解消面積:8.7ha(R8.3末現在)) ○農業者による耕作放棄地の解消及び作付けを支援した。 補助交付 R7年度:2件／2,348㎡			○農業委員会の農地利用状況調査により遊休農地を確認し、農地の利用集積と遊休農地の発生防止、解消対策を実施する。 ○農業者による耕作放棄地の解消及び作付けを支援する。	
(9)	地域の意見集約、相談の受付、アドバイス	評 価	○概ね順調 今後の取組予定	
○各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進した。 (農業委員等が調整し、集積した農地:3.2ha(R8.3現在)) ○農地相談会を実施した。			○各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進する。 ○農地相談会を実施する。	
(10)	県・JA等関係機関との連携強化	評 価	○概ね順調 今後の取組予定	
○農地中間管理機構による基盤整備に合わせた農地の集積を行った。 R7年度:村君:51.4ha、藤井下組:5.8ha ○県主催の研修会等に参加した。 ○県、JAほくさいと意見交換会を開催した。(R7年度:1回)			○農地中間管理機構による基盤整備に合わせた農地を集積する。 ○県主催の研修会等に参加する。 ○県、JAほくさいと意見交換会を開催する。 ○JAほくさいの講習会等に参加する。	
(11)	地域計画の作成	評 価	○概ね順調 今後の取組予定	
○地域計画の見直しを行った。(R7年度:14地区) ○協議の場を開催し、担い手の発掘及び確保、地域の課題や方向性を協議した。			○地域計画の見直しを行う。 ○地域計画の協議の場を開催する。	
(12)		評 価	今後の取組予定	

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	3 働きやすい環境づくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたい方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
創業支援事業計画を活用した 創業者数【人／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	5	○概ね順調
	実績値	4	4					
羽生市ふるさとハローワーク 就職率【％】	目標値		➡	➡	➡	➡	56	○概ね順調
	実績値	43	47					
多様な働き方実践企業認定 件数【件】	目標値		➡	➡	➡	➡	32	○概ね順調
	実績値	25	23					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	各種就労支援事業 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○国、県、ハローワークなど関係団体と連携した各種就労支援事業を実施した。 ○就職支援セミナーを開催した。(R7年度:3回開催/58人) ○シニア向け就職面接会を開催した。(R7年度:47人) ○高齢者・障がい者などの雇用支援事業に関するチラシを配布、掲示した。 ○内職相談を実施した。(R7年度:41人)	○国、県、ハローワーク等と連携した、就労支援を行う。 ○就労支援事業に関する広報、事業チラシの配布 掲示等を行う。
(2)	正規雇用者労働者採用の促進及び就職後の支援事業 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○国、県、行田地区雇用対策協議会など関係団体と連携した正規雇用労働者採用の促進及び就職後の支援事業を実施した。 ○市民プラザ内「ふるさとハローワーク」において求人情報の提供や職業相談等を実施した。 ○行田地区雇用対策協議会・ハローワークとの共催により、行田・羽生・鴻巣地域合同就職座談会を実施した。(R7年度:参加者62人) ○行田地区雇用対策協議会・ハローワークとの共催により、アクティブシニア合同就職面接会を実施した。(R7年度:参加者47人)	○国、県、雇用対策協議会との共催による就職面接会を実施する。 ○社会参加意欲のある高齢者のため、就業等の活動機会を確保・提供する。
(3)	起業家支援事業 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○創業支援ワンストップ相談窓口を設置・運営し、市内で創業する方を支援した。 ○創業支援セミナーの開催を支援し、市内で創業する方を支援した。(R7年度:参加者8人) ○女性向け創業セミナーを開催した。(R7年度:参加者12人) ○シニアのための起業はじめてセミナーを開催した。(R7年度:参加者16人) ○創業支援事業補助金事業を実施した。(R7年度:4件/3,154千円) ○商店街空き店舗対策モデル事業補助金事業を実施した。(R7年度:0件)	○創業支援事業計画に基づく、創業支援ワンストップ相談窓口における創業支援を行う。 ○各種創業支援セミナー及び交流会を開催する。 ○創業支援事業補助金交付制度のPR・利用推進を図る。 ○商店街空き店舗対策モデル事業補助金制度のPR・利用推進を図る。
(4)	空き店舗活用事業 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○商店街空き店舗対策モデル事業補助金事業を実施したが、利用には至らなかった。(R7年度:0件)	○商店街空き店舗対策モデル事業補助金制度のPR・利用推進を図る。
(5)	商工団体と連携した労働者向けセミナー開催 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○令和7年度労働セミナー(動画配信方式)を実施した。(県共催) 労働者向けセミナー R7年度:541回 事業者向けセミナー R7年度:495回 ○企業説明会・相談会in羽生を実施した。(県共催) R7年度:参加者15人	○国、県、ハローワーク等と連携した、就労支援を行う。 ○就労支援事業に関する広報、事業チラシの配布 掲示等を行う。
(6)	市内企業の成長を促す経済的・技術的支援 評価 ○概ね順調	今後の取組予定
	○融資あっせん・利子補給事業を実施した。 ○市内企業の事業振興を図るため、セーフティネット・危機関連保証認定を実施した。 ○市小口融資を実施した。(R7年度末融資残高:9,472千円) ○利子補給事業を実施した。(R7年度:県短期8件、県長期70件/924千円) ○市内企業の振興を図るため、住宅改修補助金事業を実施した。(R7年度:99件/7,663千円) ○節電設備導入支援補助金事業を実施した。(R7年度:33件/13,296千円)	○市内企業の事業振興を図るため、普通貸付、特別小口融資のあっせん及びセーフティネット・危機関連保証の認定を行う。 ○市内企業の振興を図るため、住宅改修補助の活用、利子補給事業を実施する。

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	3 働きやすい環境づくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたい方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
1-3 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)		今後の取組予定(令和8~11年度)	
(7)	市内企業に各種制度周知、支援	◎順調	今後の取組予定	
	○市内企業の事業継続を支援した。 ・信用保証料補助 ・事業継続・家賃支援補助 ・活力支援・経営支援補助 ・商工会が行うプレミアム付き商品券への補助等事業 ・新規事業チャレンジ補助金事業 ・国庫補助金、補助金制度のPRを市HPや事業者向けLINEにて周知 ・節電設備導入支援補助		○補助制度のPR・利用促進、利用しやすい補助制度への改正を検討する。 ○商工会と連携したプレミアム付商品券事業を実施する。 ○新規事業チャレンジ補助金の実施及び周知を行う。	
(8)		評価	今後の取組予定	
(9)		評価	今後の取組予定	
(10)		評価	今後の取組予定	
(11)		評価	今後の取組予定	
(12)		評価	今後の取組予定	

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育てを支援し、特色ある教育を提供する
基本施策	1 結婚を応援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	社会福祉課
関係課	

3 基本施策の方向性
結婚を希望する若者へ出会いの場を提供し、また、結婚相談体制を充実させるなど、環境づくりに努めます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
結婚相談事業による結婚成立数【件／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	3	○概ね順調
	実績値	1	1					
カップリングパーティーカップル成立数【組／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	12	◎順調
	実績値	7	16					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	カップリングパーティーの開催 評価 ◎順調 ○カップリングパーティーを開催し、結婚を希望する方々に出会いの場を提供した。 R7年度 開催回数:2回(うち1回は加須市結婚相談所と合同開催) 参加者:男性21名、女性15名、カップル成立数:16組	今後の取組予定 ○市内公共施設や企業へ開催案内のポスター及びチラシを配布し、事業のPRを図る。 ○パーティーの参加者へ、羽生市結婚相談所及びSAITAMA出会いサポートセンターへの登録を促す。 ○他市と連携し、合同パーティーを開催する。
(2)	SAITAMA出会いサポートセンターへの参加 評価 ▲順調でない ○SAITAMA出会いサポートセンター(恋たま)事業に係る出張登録会を開催した。 R7年度 開催日:令和8年1月22日、予約件数:1件、恋たまのホームページで周知 ○ホームページで「SAITAMA出会いサポートセンター」について周知した。 ○会員募集について広報10月号に掲載した。 ○社会福祉協議会において、ホームページ及び会員へのチラシ配布による周知を行った。	今後の取組予定 ○ホームページ・広報はにゅうでの周知に加え、SNS等を活用した周知を図る。 ○市内公共施設や羽生駅へポスターを掲示し、多くの方に情報を届けられるよう推進する。
(3)	結婚相談会事業 評価 ○概ね順調 ○結婚相談員による結婚相談会を開催した。 R7年度 開催日:毎月第1日曜日(於:市民プラザ)及び毎月第3日曜日(於:社会福祉協議会相談室) 開催回数:24回、相談件数:62件	今後の取組予定 ○引き続き、市広報やホームページにおいて、開催日等の周知を図る。 ○相談後、羽生市結婚相談所へ登録した方へ結婚相手を紹介する等、積極的に出会いの場を提供し、結婚に向けた支援体制を推進する。
(4)	 評価	今後の取組予定
(5)	 評価	今後の取組予定
(6)	 評価	今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育てを支援し、特色ある教育を提供する
基本施策	2 妊娠・出産・子育てを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	こども家庭課
関係課	児童保育課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業及びアプリ等による情報発信、その他の支援に努めます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
安心して出産・子育てをしやすいまちだと思う割合【%】 ※R7.7～集計開始	目標値		➡	➡	➡	➡	60	◎順調
	実績値		78.1					
子育てアプリ登録者数【人】	目標値		➡	➡	➡	➡	1,000	◎順調
	実績値	690	885					
こどもひろば(子育て支援拠点)等利用者数【人/年】	目標値		➡	➡	➡	➡	20,000	○概ね順調
	実績値	16,068	16,109					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5 これまでの取組と評価(令和7年度)			今後の取組予定(令和8～11年度)	
(1) こども家庭センター事業	評価	◎順調	今後の取組予定	
○令和6年度にこども家庭課内に設置した「こども家庭センター」において母子保健と児童福祉の連携、協働を深め、一体的な相談支援を実施した。 母子手帳交付相談数 R7年度:306件 (参考)R6年度:304件			○母子保健と児童福祉の連携、協働により支援の必要な家庭に対し、適切に対応していく。	
(2) 不妊治療費助成事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○不妊等に悩む夫婦の経済的負担を軽減するため、妊娠を望む夫婦の不妊治療に要する費用の一部を助成した。 R7年度:66件 (参考)R6年度:58件			○不妊治療費が保険適用となった令和4年度以降、年々助成件数が増加している。ニーズに対応するため事業を継続する。	
(3) 病児・病後児保育の充実	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○市内4か所の保育施設にて、病児・病後児保育(体調不良児型)を実施した。 ○病児保育室(病児対応型)「はねの家」を運営した。 R7年度:延べ160人 (参考)R6年度:延べ206人 (参考) ・病児保育室(病児対応型)の施設整備を支援(令和3～5年度) ・病児保育室(病児対応型)「はねの家」を開室(令和6年度)			○働き方の選択肢が増える一方、保護者の就労環境も変化しており、保育を必要とする保護者のニーズに対応するため事業を継続する。	
(4) 子育て支援インフルエンザ予防接種費用の助成	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○子育て世帯の負担軽減を図り、乳幼児・児童・生徒の健康の保持増進のため、インフルエンザ予防接種に係る費用の一部を助成した。 接種件数 R7年度:4,269件 (参考)R6年度:4,342件			○R8年度から新たに経鼻ワクチン接種を追加し、事業の充実を図る。	
(5) 子育てアプリによる情報発信	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○子どもの成長の記録や予防接種のスケジュール管理をはじめ、市の子育て情報(イベントや健康診査など)の配信・掲載などを実施した。 お知らせ機能への掲載情報数 R7年度:157件 (参考)R6年度:68件			○引き続き情報発信の充実を図る。	
(6) こどもひろば(子育て支援拠点)等による相談事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○子育てに関する悩みや不安の相談、子育て情報の提供などを市内に4か所ある地域子育て支援センター及び市民プラザ内の「こどもひろば」にて実施した。 R7年度 利用人数:16,109人 利用組数:7,163組 (参考)R6年度 利用人数:16,068人 利用組数:7,124組			○事業利用件数の拡充が課題となっていることから周知活動を行い、利用件数の増加を図る。	

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育てを支援し、特色ある教育を提供する
基本施策	2 妊娠・出産・子育てを支援する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	こども家庭課
関係課	児童保育課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業及びアプリ等による情報発信、その他の支援に努めます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
2-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(7)	ファミリー・サポート・センター事業 評価 ○概ね順調 ○仕事と子育てが両立できるよう会員組織にて、子育てをサポートする事業を実施した。 R7年度 会員数:248人 利用件数:242件 (参考)R6年度 会員数:236人 利用件数:313件	今後の取組予定 ○ニーズがあることから、協力会員の確保に努めるなど事業の充実を図りながら、継続する。
(8)	子育て支援ヘルパー事業 評価 ○概ね順調 ○妊産婦の家庭へ、家事等の援助を行うホームヘルパーを派遣し子育て支援を実施した。 R7年度 利用者数:2人 利用件数:12件 (参考)R6年度 利用人数:3人 利用件数:44件	今後の取組予定 ○ニーズがあることから、環境整備に向けて、対象・利用時間の拡大を検討し、事業の充実を図る。
(9)	評価	今後の取組予定
(10)	評価	今後の取組予定
(11)	評価	今後の取組予定
(12)	評価	今後の取組予定

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	2 結婚・出産・子育てを支援し、特色ある教育を提供する	担当課	学校教育課
基本施策	3 特色ある教育を提供する	関係課	生涯学習課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
教育を市の魅力を発信する重要な手段と考え、「知・徳・体・コミュニケーション能力」を地域とともに育みます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
全国学力学習状況調査 (小6・中3全国差)	目標値		➡	➡	➡	➡	+2(小6) ±0(中3)	○概ね順調
	実績値	-1.1(小6) -0.3(中3)	-3.3(小6) -1.5(中3)					
高校生インストラクター講座 講師の満足度【%】	目標値		➡	➡	➡	➡	80	◎順調
	実績値	67	96					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	小中一貫教育の推進 評価 ○概ね順調 ○再編成に関わる小中一貫教育の研究として、小学校低学年から中学生までの系統性を踏まえて整理し、一貫した指導が行えるよう指標の作成・検討を行った。 ○小中一貫教育の研究(東中ブロック)として、特別活動を基盤とした小中一貫教育の充実(東中学校区)に向けた研修を行った。	今後の取組予定 ○再編成に関わる小中一貫教育の研究を継続する。 ○義務教育9年間に於いて育む知・徳・体・コミュニケーション能力の共通理解が図れるよう、教職員相互の連携の活性化を図る。 ○小学校から中学校への円滑な接続の推進を図る。
(2)	ICTを活用した教育の推進 評価 ○概ね順調 ○児童生徒1人1台の学習用端末を整備し、各学校の授業等で活用を始めた。 ○GIGAスクールサポーターを配置したり、ICTに関する研修を実施したりすることで、各学校での学習用端末の活用促進を図った。 ○児童生徒の多様な学習活動を支援するため、パネッス等と連携やデジタル教科書の活用の促進し、各学校の取組を共有する会議の実施により、学習用端末の更なる有効な活用方法を市内で共有した。	今後の取組予定 ○学習用端末の入替を実施する。 ○学習アプリの拡充と活用促進、市内共有を図る。 ○デジタル教科書の活用促進と市内共有を図る。 ○校務支援システムに関する検討を行う。 ○校務用PCと学習用端末の連携を検討する。
(3)	英語教育の推進 評価 ○概ね順調 ○全小・中学校へALTを常駐配置した(1人ずつ全12人、うち1人は羽生市国際化推進員)。 ○中学3年生を対象に、英語検定料金の補助を実施し、英語教育の推進を図った。 R7年度:138名	今後の取組予定 ○全小・中学校へのALTの常駐を継続する。 ○英語検定料金補助の対象を中学3年生と中学2年生(第3回実施分)に拡大し、一層の英語教育の推進を図る。
(4)	「子ども大学はにゅう」の開校 評価 ○概ね順調 ○子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供し、他の小学校や他学年との交流により、成長した子どもたちの姿を見ることができた。 R7年度:2日間開催 35名参加(うち、中学生サポーター8名) (参考) R6年度:2日間開催 31名参加(うち、中学生サポーター5名) R5年度:2日間開催 30名参加(うち、中学生サポーター5名)	今後の取組予定 ○講義内容や視察研修のマンネリ化を防ぐため、各関係機関と協力・連携し、子どもたちにとって常に新しい学びの場となるような学習プログラムの実施に努める。 ○総合振興計画に示された年間修了人数の目標値達成に向け、参加人数が増加した場合の講義内容や受入先企業等の検討を進める。
(5)	高校生インストラクター講座の開催 評価 ○概ね順調 ○高校生が講師として、地域の方々を対象とした講座を主体的に企画・立案することで、授業で学んだことが活かせることに達成感を得た様子だった。 R7年度:3校(羽生第一高校、羽生実業高校、誠和福祉高校) (参考) R6年度:2校(羽生実業高校、誠和福祉高校) R5年度:3校(羽生第一高校、羽生実業高校、誠和福祉高校)	今後の取組予定 ○高校との調整を重ね、実施回数を増やしていけるよう講座開催の協力を依頼していく。 ○参加者の満足度が高く、講師を務めた高校生も貴重な経験で学びがあったとの声が多いことから、講師側の満足度が上がるような働きかけを行っていく。
(6)	トップアスリート育成事業 評価 ◎順調 ○実施種目や実施内容を指定管理者と協議した。 ○スポーツ少年団加盟種目を中心に指定管理者への委託事業として開催した。 R7年度:3種目(サッカー、バスケットボール、剣道)	今後の取組予定 ○指定管理者との継続した実施種目の検討を行う。 ○指定管理者への委託事業として継続して開催する。

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合【%】	目標値		➡	➡	➡	➡	50	○概ね順調
	実績値	44.5	42.4					
健康増進事業等に参加する市民の割合【%】	目標値		➡	➡	➡	➡	20	○概ね順調
	実績値	15.9	17.9					
いきいき百歳体操参加者数(サポーター含む)の高齢者人口に占める割合【%】	目標値		➡	➡	➡	➡	10	▲順調でない
	実績値	7.9	7.6					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】○順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1) 健康増進事業等の推進	評価 ○概ね順調 ○対面形式で実施したもの R7年度:野菜のチカラde健康づくり!(1回/65人)、美姿勢をつくるピラティス講座(1回/32人)、プロから学ぶ!介護者のための口腔ケア講座(1回/24人) ○動画配信で実施したもの R7年度:こころもメンテしよう講座(9月～3月/視聴回数481回)、腸活レシピ講座(12月～3月/視聴回数608回)、美姿勢をつくるピラティス講座(3月/視聴回数337回)	今後の取組予定 ○生活習慣病予防を基本としながら、多角的なテーマで健康増進講座を継続的に実施する。 ○対面講座と動画配信を組み合わせたハイブリッド型の事業展開を推進する。
(2) 介護予防事業	評価 ▲順調でない ○高齢者の健康づくりとともに、生きがい支援・地域の見守り活動ともつながりのある「いきいき百歳体操」の普及、定着支援を継続した。 R7年度:9地区43会場/参加者及びサポーター数1,267人 (参考)R6年度:9地区44会場/参加者及びサポーター数1,328人	今後の取組予定 ○いきいき百歳体操立ち上げから、R8年度は10年の節目の年になる。R8年度中に10周年記念イベントを企画し、サポーターの意識向上を目指すとともに、市民に対して更なる周知を行う。また、広報で特集ページを掲載する予定である。 ○新規参加者の獲得のために各会場でチラシを作成し、地元の方への配布を検討する。
(3) 各種健康診断の推進	評価 ○概ね順調 ○特定健診を実施した。受診率 R7年度:38.0% (参考) R6年度:38.4% R5年度:32.8% ○特定保健指導を実施した。利用率 R7年度:6.9% (参考) R6年度:6.6% R5年度:4.8% ○健康診査を実施した。受診率 R7年度:37.8% (参考) R6年度:38.3% R5年度:39.8%	今後の取組予定 ○特定検診を実施する。 ○特定保健指導を実施する。 ○健康診査を実施する。
(4) 健康づくり、体力づくりのための環境整備	評価 ○概ね順調 ○スポーツスクール(指定管理者への委託事業)を開催した。 参加者合計 R7年度:12教室/154名	今後の取組予定 ○指定管理者への委託事業として継続開催しながら、指定管理者自主事業との統合等について検討する。
(5) ニュースポーツ出前教室	評価 ○概ね順調 ○市内9地区を6ブロックに分けて開催した。 参加者合計 R7年度:102名	今後の取組予定 ○スポーツ推進委員が主体となり実施方法や実施種目を検討し、継続して開催する。
(6) チャレンジtheスポーツ事業	評価 ▲順調でない ○体力測定、健康測定、ニュースポーツ体験を実施した。 参加者 R7年度:45名	今後の取組予定 ○事業の必要性や有効性の視点から、事業の廃止や新規事業への転換を検討する。

【令和7年度未までの取組評価】○順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	健康づくり推進課
関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
3-1 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(7)	スポーツレクリエーション事業 評価 ◎順調 ○全国フロアカーリング大会を開催した。(R7年度:95チーム/347名) ○市フロアカーリング大会を開催した。(R7年度:58チーム/204名) ○羽生スポ・レクフェスタを開催した。(R7年度:参加者約2,000名) ○マラソン大会(指定管理者への委託事業)を開催した。(R7年度:エントリー者数1,094名/当日完走者953名)	今後の取組予定 ○継続して開催する。
(8)	評価	今後の取組予定
(9)	評価	今後の取組予定
(10)	評価	今後の取組予定
(11)	評価	今後の取組予定
(12)	評価	今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	2 安全で安心なまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
主担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
防災訓練を実施した自主防災組織数【件／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	74	○概ね順調
	実績値	44	34					
防災アプリ登録者数【件】	目標値		➡	➡	➡	➡	9,000	○概ね順調
	実績値	3,378	4,186					
全刑法犯認知件数【件／年】 (1～12月)	目標値		➡	➡	➡	➡	412	○概ね順調
	実績値	597	508					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1) 自主防災組織への支援	評価 ○概ね順調 ○自主防災組織資機材整備・活動支援事業として自主防災組織育成補助金を交付した。 活動支援 R7年度:45件	今後の取組予定 ○自主防災組織育成補助金の補助内容に防災士資格取得費用の補助を新たに追加し、補助金の充実を図る。
(2) 防災アプリによる情報発信	評価 ○概ね順調 ○令和6年6月から防災アプリの運用を開始した。 未登録者数 R7年度:4,186件 ○出前講座やイベント等で啓発活動を実施した。	今後の取組予定 ○防災アプリにより情報発信する。 ○出前講座やイベント等で啓発活動を実施する。
(3) 防災備蓄の推進	評価 ○概ね順調 ○ローリングストックによる防災備蓄品を確保した。 ○防災備蓄品台帳の整理を行った。	今後の取組予定 ○ローリング計画に基づき防災備蓄品を購入する。
(4) 内水害対策の推進	評価 ○概ね順調 ○利根川治水対策として、国の堤防強化対策事業における地元調整等を支援している。 ・Ⅰ期区間(五霞町～東北自動車道23.5km):令和5年度に概成 ・Ⅱ期区間(東北自動車道～深谷市26.0km):用地取得率 約53% ・堤防強化延長進捗率:約11%(令和8年3月末現在) ○県の中川河道改修事業に関連して、弁天橋の架替え工事を実施している。 ○排水ポンプの修繕、調整池の雑草刈払い、ポンプ設備等の点検を実施した。	今後の取組予定 ○利根川堤防強化や中川河道改修事業は、継続して国土交通省及び埼玉県知事へ要望活動を実施する。 ○雨水貯留浸透対策事業やポンプ設備等の更新にも取り組んでいく。
(5) 防犯啓発の推進	評価 ○概ね順調 ○各季(春・夏・秋・年末)防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施した。 ○地域安全・暴力排除総決起大会を開催した。	今後の取組予定 ○各季(春・夏・秋・年末)防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施する。 ○地域安全・暴力排除総決起大会を開催する。
(6) 自主防犯活動への支援	評価 ○概ね順調 ○地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付した。 交付額 R7年度:164,400円 ○メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供を行った。	今後の取組予定 ○地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付する。 ○メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供を行う。

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	2 安全で安心なまちづくりを推進する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
3-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(7)	防犯施設の整備 ◎防犯灯未設置箇所への防犯灯を整備した。(新設 R7年度:73基) ○羽生駅自由通路設置防犯カメラ15基の維持管理を行った。警察署より捜査依頼があった場合に防犯カメラの録画画像を提供した。(提供件数 R7年度:7件) ○埼玉県警察本部にイオンモール羽生周辺への交番設置を要望した。	今後の取組予定 ○未設置箇所に計画的にLED防犯灯を整備する。 ○羽生駅舎に設置の防犯カメラ15台の維持管理を行う。
(8)	外国人住民への支援 ○外国人相談窓口を設置した。(相談件数 R7年度:3件) ○日本語教室を実施した。(開講回数 R7年度:22回)	今後の取組予定 ○外国人相談窓口を周知する。 ○日本語教室を実施する。(第1・第3日曜日)
(9)		今後の取組予定
(10)		今後の取組予定
(11)		今後の取組予定
(12)		今後の取組予定

【令和7年度末までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	3 優れた住環境を提供する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	まちづくり政策課
関係課	地域振興課・企画課・財政課・高齢介護課・商工課・環境課・企業誘致推進課

3 基本施策の方向性
便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
岩瀬土地区画整理事業の進捗面積(使用収益開始面積)【ha】	目標値		➡	➡	➡	➡	42.5	○概ね順調
	実績値	37.1	40.5					
公共交通に満足している人の割合【%】	目標値		➡	➡	➡	➡	70.0	○概ね順調
	実績値	57.1	57.5					
商店街空き店舗対策モデル事業活用件数【件／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	3	▲順調でない
	実績値	4	0					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】○順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	岩瀬土地区画整理事業の促進 評価 ○概ね順調 ○中央工区調整池築造工事実施設計を行った。(R8・9年度工事予定) ○第6回事業計画変更について県協議を行った。(R6・7・8年度事業)	今後の取組予定 ○中央工区調整池築造工事行う。(R8・9年度工事) ○第6回事業計画変更を行う。(R6・7・8年度事業) 計画変更により事業費の削減を図る。
(2)	優良住宅地としての都市基盤整備の推進 評価 ○概ね順調 ○岩瀬土地区画整理事業南工区先行整備街区において、アルコガーデン羽生岩瀬Ⅱの造成工事が完了した。(全78区画)	今後の取組予定 ○アルコガーデン羽生岩瀬Ⅱの販売を促進する。 ○中央工区調整池竣工後、隣接街区の保留地(約20区画)を販売予定である。
(3)	企業の誘致 評価 ○概ね順調 ○岩瀬土地区画整理事業北工区先行整備街区において、㈱SUBARUモータープールが竣工した。	今後の取組予定 ○南工区賃貸希望街区の一部(残地)に企業や店舗の誘致を目指す。
(4)	東武鉄道・秩父鉄道への発着列車増便等の要望等 評価 ○概ね順調 ○東武鉄道伊勢崎線輸送力増強推進協議会の会長市として、同鉄道輸送力改善に係る要望を行った。 ○秩父鉄道整備促進協議会の構成員として、秩父鉄道株式会社が実施する安全対策事業を支援した。 ○埼玉県を通じて東武鉄道(株)及び秩父鉄道(株)に対し、輸送力改善に係る要望を行った。	今後の取組予定 ○引き続き、鉄道利用の状況変化を注視し、要望内容を適宜見直しながら、鉄道事業者との合意形成を図る。
(5)	地域公共交通サービスの充実 評価 ○概ね順調 ○のりあいタクシー本運行を開始した。 ○地域公共交通会議を開催した。(R7年度:1回) (参考) ・地域公共交通会議を開催(R4年度:2回 R5年度:1回 R6年度:2回) ・R4年10月～:のりあいタクシーの実証運行を実施 ・R5年度:公共交通に関する市民アンケート調査を実施(1,500人対象) ・R6年度:のりあいタクシー本運行への移行を決定	今後の取組予定 ○地域の実情に即した制度の改善等を検討する。
(6)	買い物弱者支援 評価 ◎順調 ○宅配電話帳(R5年度更新)の配布、PRを行った。 ○のりあいタクシーの乗降場所に「いきいき百歳体操」の会場29か所を新設した。 ○社会福祉協議会が実施する移動販売事業を支援した。	今後の取組予定 ○引き続き関係機関の協力を得て、宅配電話帳の周知を行う。(R9年度に更新予定) ○社会福祉協議会が実施する移動販売事業の支援を継続する。

【令和7年度末までの取組評価】○順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	3 優れた住環境を提供する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	まちづくり政策課
関係課	地域振興課・企画課・財政課・高齢介護課・商工課・環境課・企業誘致推進課

3 基本施策の方向性
便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
3-3 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(7)	公共施設等マネジメントの推進 評価 ○概ね順調 ○井泉小、三田ヶ谷小、村君小の3校を統合する羽生東小学校が開校した。 ○第6・7保育所を統合し、いわせ保育所を新設した。 ○三田ヶ谷小、村君小跡地の利活用事業者を公募した。(応募者無し) ○第2・4・6保育所跡地利活用の推進を図った。	今後の取組予定 ○旧三田ヶ谷小、旧村君小の利活用事業者を再募集する。 ○旧第2・4・6保育所の売却等の準備を行う。 ○市民プラザ、中央公民館等の今後の方針を決定する。 ○羽生東小学校以外の小学校の今後の方針を決定する。
(8)	羽生市空き家等対策計画による空き家の適正管理等の促進 評価 ○概ね順調 ○毎年5月に送付する固定資産税納税通知書(約25,000通)に、空き家・空き地の適正管理や空き家・空き地個別相談会についての案内文書を同封し、郵送した。 ○関係団体と連携し、空き家・空き地個別相談会を開催し、管理・相続等空き家・空き地の今後について相談者に助言を行った。(R7年度:6回/31組) ○空き家・空き地バンクの登録物件情報を市ホームページで公開した。(R7年度:新規2件)	今後の取組予定 ○固定資産税納税通知書(約25,000通)に空き家・空き地維持管理の啓発案内を同封する。 ○空き家・空き地個別相談会を開催する。 ○空き家・空き地バンクを運営する。
(9)	中心市街地活性化の促進 評価 ◎順調 ○「ムジナもんワイワイ祭り」を松原通り商店街にて開催した。(R7年度:来場者数4,000人) ○市民プラザの適正な管理運営のため、修繕及び工事(コンデンサー化学洗浄修繕ほか10件、出前教室電気配線コンセント等取付工事ほか5件)を実施した。 R7年度:市民プラザ/利用件数2,019件、利用者数39,373人	今後の取組予定 ○引き続き、各商店街等との連携により商店街活性化のためのイベント等の開催を行い、個性と魅力に満ちた活気ある商店街づくりを支援する。 ○市民プラザについては、引き続き適正な管理運営を行うと同時に、今後の在り方について研究を行う。
(10)	評価	今後の取組予定
(11)	評価	今後の取組予定
(12)	評価	今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる	担当課	企画課
基本施策	4 持続可能なまちづくりを推進する	関係課	地域振興課・環境課

3 基本施策の方向性
市民や市等が協働し、SDGsの実現に向けた持続可能なまちを目指します。 また、デジタル技術の活用を検討を積極的に進め、行政経営の効率化を図ります。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
市民活動応援補助金交付申請件数【件】	目標値		➡	➡	➡	➡	21	▲順調でない
	実績値	1	1					
本市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量(t-CO2) ※前年度実績に基づき評価	目標値		➡	➡	➡	➡	5,000	○概ね順調
	実績値	7,791	調査中					
電子申請の利用件数【件／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	5,000	○概ね順調
	実績値	651	1,795					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】○順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5 これまでの取組と評価(令和7年度)			今後の取組予定(令和8～11年度)	
(1) 自治会等活動支援事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○住みよい地域社会の形成及び地域自治の振興を図るため、自治会活動支援事業として自治会及び自治会連合会に交付金を交付した。(R7年度交付額:42,645,000円) ○自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組む自治会連合会の2つの委員会の活動を支援した。 ○自治会活動周知を図るため、「羽生市自治会連合会だより」の発行(年2回)を支援した。 ○市HP内の自治会連合会コーナーに自治会関連ニュースを掲載した。 ○自治会を対象に自治会活動に関するアンケート調査を実施した。			○自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組む自治会連合会の2つの委員会の活動を支援する。 ○市HPによる自治会連合会の活動の周知や「羽生市自治会連合会だより」の発行を支援する。 ○持続可能な自治会活動を目指し、自治会の合併等の検討を進める。	
(2) 自治会集会所整備事業費補助金交付事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○市民の地域活動の拠点となる自治会集会所の修繕等に対し、自治会集会所整備事業費補助金(補助対象経費の1/5)を交付した。 R7年度:15自治会/計1,139,000円			○市民の地域活動の拠点となる自治会集会所の修繕等に対し、自治会集会所整備事業費補助金(補助対象経費の1/5)を交付する。	
(3) 地域協議会支援事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○市内9地区の各地域協議会へ交付金を交付した。 R7年度:9協議会/計342,000円			○自主的かつ持続的な活動を行う地域住民によって組織された地域協議会に対し、事業費補助を実施する。	
(4) 市民活動応援補助金事業	評価	▲順調でない	今後の取組予定	
○市民活動を活性化させるため、地域社会における公益性・公共性の高い自発的な取組に対し補助金を交付しているが、令和7年度の補助金申請はなかった。そのため、ボランティア団体に対してチラシを配布するなど、次年度に向けた制度周知を積極的に実施した。			○市民活動を活性化させるため、地域社会における公益性・公共性の高い自発的な取組に対し、引き続き補助金を交付する。	
(5) 環境配慮型機器導入補助金交付事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○再生可能エネルギー設備等設置補助金による省エネを推進した。 R7年度:太陽光42件・蓄電池46件 ○雨水貯留タンク設置補助金による雨水利用を推進した。 R7年度:5件			○再生可能エネルギー設備等設置補助金を推進する。 ○雨水貯留タンク設置補助金を推進する。	
(6) 脱炭素化に向けた省エネ・再エネ導入検討・推進事業	評価	○概ね順調	今後の取組予定	
○羽生市地球温暖化対策実行計画を制定した。			○羽生市地球温暖化対策実行計画の周知と公表を行う。	

【令和7年度末までの取組評価】○順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	4 持続可能なまちづくりを推進する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	企画課
関係課	地域振興課・環境課

3 基本施策の方向性
市民や市等が協働し、SDGsの実現に向けた持続可能なまちを目指します。 また、デジタル技術の活用を検討を積極的に進め、行政経営の効率化を図ります。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
3-4 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)		今後の取組予定(令和8～11年度)	
(7)	EV充電器整備事業	評 価	○概ね順調	今後の取組予定
○市内公共施設15か所へEV充電器の設置が完了した。(全予定か所設置完了)				○EV充電設備の設置に関する周知を継続する。
(8)	行政手続きのオンライン化	評 価	○概ね順調	今後の取組予定
○インターネットを利用して申請・届出ができる「電子申請・届出サービス」の利用を促進した。 ・手続の種類：64種類 令和7年度：3種類追加（参考）令和6年度：3種類追加 ・令和7年度は、各課が実施する講習会・講座の申込方法について、電子申請を勧奨した。 ・広報誌等で二次元コードを用いた周知等を行い、利用件数が増加した。				○対面・書面・押印を前提とした手続の見直しを進め、電子申請の対象手続を拡大し、市民が来庁しなくても手続できる環境整備を進める。
(9)	マイナンバー制度活用事業	評 価	○概ね順調	今後の取組予定
○マイナンバーカードを利用した証明書の「コンビニ交付サービス」等の利用を促進した。 コンビニ交付件数 R7年度：12,522件 電子申請の署名機能の用いたオンライン申請（ぴったりサービス）利用件数 R7年度：337件				○マイナンバーカードを本人確認手段として活用し、オンライン申請、証明書交付、各種行政サービスとの連携を拡充する。 ○コンビニ交付で取得できる証明書の種類を増やす。
(10)	AI－OCR・RPA等デジタル技術の活用	評 価	○概ね順調	今後の取組予定
○手作業による入力や転記作業を削減し、職員の事務負担軽減、処理時間の短縮、入力誤りを抑制した。 ○令和7年度は、新たに3業務（会計年度任用職員の超過勤務処理、共通事務用品の事務処理、浄化槽汚泥汲取記録の事務処理）の自動化に取り組んだ。				○申請書処理、税務、福祉、住民情報関係など、定型かつ大量の事務処理が発生する業務を中心に、活用範囲を広げる。
(11)	税・使用料等のキャッシュレス決済の拡充	評 価	○概ね順調	今後の取組予定
○eL-TAXによるオンライン決済（二次元コード読み取り）を実装し、税等のオンライン決済を推進した。 ○証明書発行の事務手数料のキャッシュレス化について、効果的な配置を検討し、市民生活課及び健康づくり推進課にキャッシュレス決済機器を設置することを決定した。				○市税に限らず、各種使用料、手数料、施設利用料等についても、キャッシュレス決済を拡大する。 ○電子申請やオンライン予約などと決済機能を組み合わせることで、申請から支払いまでを一体的にオンラインで完結できる行政サービスを目指す。
(12)		評 価		今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める	担当課	観光プロモーション課
基本施策	1 地域資源を生かす	関係課	郷土資料館

3 基本施策の方向性
特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用及び発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、関係人口等の創出に努めます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
文化財講座等の実施【回／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	7	○概ね順調
	実績値	5	4					
ロケーションの誘致回数【件／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	30	○概ね順調
	実績値	24	22					
ふるさと納税の返礼品の数【品】	目標値		➡	➡	➡	➡	470	○概ね順調
	実績値	600	782					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】○順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	キャラクターの活用 評価 ○概ね順調 ○大規模なキャラクターイベントを市の中心地である市役所周辺で開催するとともに市外のキャラクターイベントにも積極的に参加し、市のPRを精力的に実施して認知度の向上を図った。 ○キャラクターイベントをふるさと納税等と連携するほか市内企業や各団体との協力関係も構築して実施することにより、市の認知度向上やPRを図った。	今後の取組予定 ○継続的に民間団体や企業でのキャラクター使用やムジナもんファンクラブによるPRを実施する。 ○キャラクターイベントにおいても中心市街地での実施を継続し、来場者の循環経路などを再構築して、更なるPRに資するよう計画する。
(2)	SNSや動画の活用 評価 ○概ね順調 ○X(旧ツイッター)やYoutubeを活用した情報発信を積極的に実施し、登録者数が増加した。(Youtube:138名増) ○オンラインでの生配信イベントを毎月実施した。	今後の取組予定 ○X(旧ツイッター)やYoutubeの登録者数が概ね順調に増加していることから、継続して魅力ある発信をする。
(3)	羽生市ロケーションサービスによるロケーション誘致 評価 ○概ね順調 ○撮影に関する相談や調整を積極的に取り組み続けた結果、昨年度と同等数の撮影を誘致することができた。 ○今年度より廃校となった小学校を紹介し、細かな調整を行ったことで、長期撮影のロケ地として利用してもらうことができた。また、撮影までは決まらなかったが、「古民家とみ田や」も今後撮影場所の1つとして使用できると確認できたため、撮影場所のバリエーションを増やすことができた。	今後の取組予定 ○引き続き、ロケーション誘致を通して本市のPRを図る。
(4)	文化財等の講座の開催 評価 ○概ね順調 ○宮大工三村家の建築をテーマとした講座(12/6)を開催した。 (参考) R3年度:羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、記念講演会(7/18)を開催 R4年度:林宏一氏を講師に招き、「羽生市の仏像」をテーマにした羽生字講座公開講演会(第11回・12/3)を開催 R5年度:牧野富太郎とムジナモに関する講演会(7/22)を開催 R6年度:羽生城をテーマとした講座(12/8)を開催	今後の取組予定 ○市内の歴史や文化についての理解の深化を図るための講座を企画・実施する。令和8年度は、富田家住宅離れ国登録有形文化財登録記念事業として、講座の開催やパネル展示を実施予定である。
(5)	文化財等の保護・啓発 評価 ○概ね順調 ○国指定天然記念物宝蔵寺沼ムジナモ自生地について、保護増殖事業、自生促進事業、陸地化した水路の掘削等を実施し、ムジナモの自生状況の改善を促進した。 ○県指定天然記念物勘兵衛マツについて、樹勢回復のための薬剤散布やコモ巻き等を実施した。また、樹木医による精密診断を実施し、ワイヤー支柱を新たに2本設置して、公衆の安全確保及び文化財の自壊を防ぐため措置を講じた。 ○市指定史跡伝馬越館跡について、整備業務として下草刈りや竹伐採を実施した。また、長期間懸念事項となっていた西側の竹の大規模な剪定を実施して、課題解決を図った。	今後の取組予定 ○文化財の保護が適切に行われるよう引き続き各種施策を講じる。また、文化財保護精神の啓発に努める。
(6)	ムジナモの活用 評価 ○概ね順調 ○自生地見学会(5回)を実施した。また、野生復帰を記念した特別見学会(6/15)、シンポジウム(8/31)を開催した。 (参考) R3年度:羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、自生地見学会(10/2)、パネル展(7月～3月)を実施。 ムジナモ自生地一般公開を4回実施 R4年度:天然記念物の啓発及び身近な自然に触れる事業として、宝蔵寺沼ムジナモ自生地見学会を6回実施 R5年度:自生地見学会(7回)、パネル展(5月～3月)を実施 R6年度:自生地見学会(5回)を実施。また、「ムジナモ復活の軌跡」と題した講演会(1/12)を開催	今後の取組予定 ○令和8年度は宝蔵寺沼ムジナモ自生地国天然記念物に指定されて60周年を迎えるため、記念事業を実施していく。

【令和7年度未までの取組評価】○順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
基本施策	1 地域資源を生かす

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	郷土資料館

3 基本施策の方向性
特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用及び発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、関係人口等の創出に努めます。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
4-1 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(7)	ふるさと納税返礼品の拡大 ○新規事業者に加え、既存事業者からの追加出品もあり、約180品の返礼品を増やすことができた。	評価 ○概ね順調 今後の取組予定 ○引き続き新規事業者及び返礼品を充実させ、寄附額増加につなげる。
(8)	評価	今後の取組予定
(9)	評価	今後の取組予定
(10)	評価	今後の取組予定
(11)	評価	今後の取組予定
(12)	評価	今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める	担当課	観光プロモーション課
基本施策	2 観光を振興する	関係課	商工課・農政課

3 基本施策の方向性
羽生市観光ビジョンに基づき、市民や事業者、行政の協働のもとに計画を推進することで観光交流人口を増やし、もって本市のにぎわいの創出を目指します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
世界キャラクターさみっとin羽生の来場者数【万人／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	10	◎順調
	実績値	7	8					
観光農園新規参入事業者数【者】	目標値		➡	➡	➡	➡	5	◎順調
	実績値	5	5					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)		今後の取組予定(令和8～11年度)	
(1)	世界キャラクターさみっとin羽生開催事業	評価	◎概ね順調	今後の取組予定
○令和7年度は会場を市の中心地である市役所周辺で開催し、新たな魅力を市内外にPRした。 なお、コロナ禍ではリアルイベントとして実施できなかったものの、それ以降は大規模なキャラクターイベントとしてリアル開催(イオンモール羽生)、毎年順調に来場者数を伸ばしている。 ○市外のキャラクターイベントにも積極的に参加し、市を積極的にPRして認知度の向上を図った。		○引き続き、会場を市の中心部たる市役所周辺で実施し、新たに発信した市の魅力や情報発信力を定着させる。 ○観光客が中心市街地を周回するような手法を取り入れ、更なる魅力の発信を図る。		
(2)	利根川等地域資源活用事業	評価	◎概ね順調	今後の取組予定
○「羽生利根川水遊びフェス」を開催し、水辺ならではの企画として、ポートレースや水切り大会、テントサウナ等を行った(R7年度来場者数:500人)。当日は「利根川の魅力を育む会」をはじめ、利根川河川上流事務所や市消防署、市水道課等の協力により、スムーズかつ安全に運営することができた。		○引き続き、イベントなどを通して利根川の観光活用等の可能性を模索していく。		
(3)	観光農園事業	評価	◎概ね順調	今後の取組予定
○観光農園等基本構想計画地への企業参入に向け、農地改良(畑地化)を実施した。(R7年度:2.8ha) ○キャッセ羽生で夏野菜等の収穫体験を実施した。 ○キャッセ羽生、チャレンジファーム、羽生水郷公園の3者で連携したイベントを行った。 ○羽生水郷公園内に整備したハーブ園の管理を行った。 ○チャレンジファームで観光農園(いちご狩り)を運営した。(2者)		○観光農園等基本構想計画地への企業参入が決まり次第、農地改良(畑地化)を実施する。 ○キャッセ羽生と近隣観光施設等関係機関と連携し、イベント等を実施する。 ○チャレンジファームで観光農園の運営を継続する。		
(4)	藍染振興事業	評価	◎概ね順調	今後の取組予定
○市民プラザでふれ藍ショップを運営した。 ○市民プラザで、一般利用者及び市内小学生に藍染体験を実施した。 ○市内栽培の藍をを活用した「叩き染め体験」をワークヒルズ羽生で実施した。(R2～7年度) ○市内各社にストールを作成してもらい、ふれ藍ショップにて販売した。(R5～7年度) ○市中銀行において藍染マンデーを実施した。 ○世界キャラクターさみっとや青縞の市において藍染体験を実施した。		○浅草観光案内所やキャラクターさみっとへの藍染ワークショップを実施し、地場産業である藍染製品のPR・販売促進を行う。		
(5)	観光拠点施設等の有効活用	評価	◎概ね順調	今後の取組予定
○キャッセ羽生において観光農園事業として収穫体験の充実を図り、県・市・公園緑地協会・近隣観光施設等関係機関と連携したイベントや広告等を行った。 ○チャレンジファーム参入業者と連携したイベントやバーガーフェスを開催した。 ○指定管理者による三田ヶ谷農林公園の管理運営を行った。		○キャッセ羽生において収穫体験を実施する。 ○チャレンジファーム参入業者と連携したイベント等を継続して実施する。 ○指定管理者による三田ヶ谷農林公園の適正な管理運営を継続する。		
(6)	地場産業「藍染」等のPR	評価	◎順調	今後の取組予定
○「青縞の市」に出店し、藍染体験を実施した。 ○羽生駅自由通路ショーケースに羽生市産業振興協議会による地場産品を展示した。 ○福島県金山町、台東区浅草のイベントに出展し、藍染体験を実施した。 ○羽生駅トイレを東武鉄道、羽生市藍染振興協議会でリニューアルした。		○SNSを通じて藍染や藍染体験の魅力を若い世代に向けて発信し、認知度を高める。 ○地域のイベントや他市イベントに出展し、藍染体験を実施する。 ○新しい商品販売場所を検討する。 ○産地産業の活性化に向けた勉強会を開催する。		

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
基本施策	3 転入を促進する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	企画課
関係課	

3 基本施策の方向性
地方移住の機運の高まりに合わせ、本市の魅力を積極的に発信し、本市に移住、定住する人の流れを促進します。

4 事業のKPI								
指標名【単位】	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	進捗状況
人口の社会増加数【人／累計】	目標値		➡	➡	➡	➡	1,500	◎順調
	実績値	262	670					
移住促進関連事業参加数【回／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	6	▲順調でない
	実績値	3	1					
移住Instagram投稿数【回／年】	目標値		➡	➡	➡	➡	24	◎順調
	実績値	20	37					
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【進捗状況評価】◎順調(R11で100%以上達成見込み) ○概ね順調(R11で75%以上達成見込み) ▲順調でない(R11で75%未満の達成見込み)

5	これまでの取組と評価(令和7年度)	今後の取組予定(令和8～11年度)
(1)	移住相談の受付 ○転入希望者等からの相談を受け付け、ニーズに応じた情報提供等を行った。 R7年度:7件 (参考)R2～6年度の平均相談件数:3.4件	今後の取組予定 ○相談件数は増加傾向にあるが、引き続き、相談窓口の認知度を高めるための取組が必要である。 SNSや市ホームページ等を活用し、市外在住者へ広く情報発信を行う。
(2)	移住・定住のPR ○公式Instagramや市ホームページ等で情報発信を行った。 ○移住促進チラシをイベント時等に配布するとともに、市内民間事業所への配置を依頼した。 ○㈱Another works社による「民間複業人材活用に関する実証事業」に参加し、民間アドバイザーの知見を生かした施策の推進を図った。 ① 移住・定住施策の検討事業 ② Instagram運用事業	今後の取組予定 ○引き続き、公式Instagram等での情報発信を積極的に行うとともに、新たなツールの活用についても検討する。 ○国が進める「ふるさと住民登録制度」について調査・研究を行い、その導入について検討する。
(3)	埼玉県等と連携した移住促進事業の実施 ○「住むなら埼玉」官民連携協議会において、「住みたくなる埼玉」「住み続けたい埼玉」の実現に向けた意見交換を行った。	今後の取組予定 ○埼玉県が進める「移住者の定義付け」に協力するとともに、新たな連携方法についても模索していく。
(4)		今後の取組予定
(5)		今後の取組予定
(6)		今後の取組予定

【令和7年度未までの取組評価】◎順調 ○概ね順調 ▲順調でない